

敬老事業フォーカスグループインタビュー

フォーカスグループインタビューとは

複数の対象者に対し、座談会形式でインタビューを行う調査方法。
アンケート調査などの定量調査では捉えきれない市民の潜在的なニーズ
やご意見を収集することが目的

日時 令和2年2月27日（木）19時

会場 フィランセ 西館3F 会議室

対象者 9月に実施した「敬老事業に関するアンケート」において
インタビューへご協力の意思表示をしていただいた149名中
参加していただいた13名

（年代内訳）20代 1名、40代 3名、50代 1名

60代 1名、70代 5名、80代 2名

（性別）男性 11名、女性 2名

内容 問1 あなたは敬老会に出席しますか？また、今後の敬老会の必要性に
ついてのお考えをお聞かせください。

- ・出席する 8、出席しない 3、わからない 2
必要性ある 7、必要性ない 4、わからない 2
- ・対象年齢あげるべき
- ・地域のコミュニケーション、支えあい的大事。
- ・対象者が楽しみにしている。
- ・敬老意識の醸成
- ・参加率低く、必要性感じない

問2 祝金（77歳・80歳・90歳・99歳に5,000円を贈呈）について

- ・縮小 8、廃止 4、継続 1
- ・不公平感が出ないように、生涯に1回もらえる制度にしたらどうか。
- ・88歳米寿祝のみでいいと思う。
- ・別の事業に使ったらどうか。
- ・金額を下げ対象年齢区分を変えない。

問3 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業の
に振り分けるとしたらどのような事業を充実させて欲しいか。

- ・高齢者のための公共交通補助、バス・タクシーの充実
- ・新富士駅、富士駅周辺の再開発
- ・若年層に魅力的な商業施設誘致
- ・福祉事業、サロンの充実
- ・学校の環境整備
- ・保育や介護職の待遇改善